

2021 年度実施概要

学校名

福島県南会津郡只見町立明和小学校

採択活動名

只見町のよさ（自然・文化・伝統・ひと）ってすごい！！

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 只見のよさ	第3・4学年	行事・総合等
2. 伊南川の旅	第5・6学年	総合等
3. 只見の川から海へ	第6学年	総合等

取り組みの概要

今年度の本校研究テーマを「学び続けながら自立へと歩みを進めていく子どもの育成～多面的な見方を通して感動に出会わせるE S D・海洋教育～」とし、一年次として生活科及び総合的な学習の時間を中心に地域理解学習を進めてきた。今年度は、海と地域のつながりを教科横断的に意識させるとともに、海から只見に生きる自分たちの暮らしについて見つめ直し、これからの町の未来、自分たちの生き方を考える学習を展開した。

第3・4学年は「只見のよさ」を探す学習として遠足で町内にある田子倉湖に出かけ、田子倉ダムの組みや役割について展示資料館で学び、そこで働く人々の工夫や大変さ、自分たちの生活と水の関係などについて学ぶことができた。また、田子倉湖をモーターボートに乗車して周遊する活動の中では、ダムができるまでの歴史について学び、奥深くまで続く只見の急峻な山並みやところどころに流れる支流や滝などの豊かな景観を満喫した。

第5・6学年は、「伊南川の旅」として、地域を流れる伊南川をたどり日本海まで地形や周りの環境、川の様子などについて探究学習を行った。海岸には予想を上回るごみが流れ着いており、中には、海外から流れてきたごみも見つかったことから、海の汚れは、海の近くに住む人だけの問題ではないことに気づき、自分たちの生活を見直す機会となった。第6学年では、総合的な学習の時間のテーマである「只見の川から海へ」の学習の一環としての探究学習と位置付け、今までの学びや教科横断的に思考を働かせて多面的に考えることで、山間部の自分たちの生活を改善していかない限り、海洋汚染を止められないという考えに行きついた。それを全国海洋教育サミットや町の海洋教育成果発表会で発表し自信につなげた。

このように、只見町の自然・文化・伝統・ひとという素材を生かしながら、全ての学年において系統をもった学びを位置付け、教科横断的に多面的な見方を育みながら学びを進めていったことで、より地域への誇りと愛情を育むことにつなげることができた有意義な学びを実現できたと考える。

活動中の写真

<第3・4学年 只見のよさ>



<第5・6学年 伊南川の旅>

